

2023 年度 関西健康科学専門学校 事業報告

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(担当者：校長 住田行志)

●2023 年度在籍者数 (2023 年 5 月 1 日現在)

(単位：名)

| 学科 | スポーツ医療柔道整復学科 | | 計 |
|------|--------------|------|-----|
| | I 部 | II 部 | |
| 入学定員 | 60 | 60 | 120 |
| 収容定員 | 180 | 180 | 360 |
| 1年生 | 67 | 14 | 81 |
| 2年生 | 54 | 11 | 65 |
| 3年生 | 48 | 15 | 63 |
| 計 | 169 | 40 | 209 |

I. 2023 年度の事業概要

| 事業計画項目 | | 達成度 |
|--------|---------------------------------|-----------------------|
| 1 | 国家試験全員合格 | 合格率 94%。全国の新卒平均は 84%。 |
| 2 | I 部 60 名、II 部 30 名計 90 名の入学者数獲得 | I 部 57 名、II 部 6 名。 |

II. 2023 年度の取り組み

1. 2024 年度入学生募集活動 入試状況

(単位：名)

| 学科名 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------|------|------|------|------|
| I 部 | 59 | 58 | 57 | 57 |
| II 部 | 6 | 6 | 6 | 6 |

2. 中途退学者数・防止策

| 学年 | 退学者数 | 退学率 | 原因 |
|----|------|-------|--------------|
| 1 | 15 人 | 18.5% | 学業不振、進路変更 |
| 2 | 4 人 | 6.1% | 学業不振 |
| 3 | 4 人 | 6.3% | 家庭環境変化から進路変更 |
| 計 | 23 人 | 11% | — |

3. 2023 年度に実施した新たな事業内容の結果と 2024 年度への課題

| 項目 | 事業内容 | 2024 年度への課題 |
|--------------------|---|---|
| (1) 柔道整復師国家試験全員合格 | モノグサを活用。解剖、生理、柔整の基礎学力の定着を可視化し、管理することが可能になった。難易度の高い問題演習を 1 月より実施でき合格率の向上 (94%合格) につながった。 | 3 科目しか問題実施できなかった。3 年は全科目実施し、過去問題全問題実施し記憶の定着に務める。また 1 年次より使用し、1 年生の学力向上、教員負担軽減、退学率低下を狙う。 |
| (2) 他府県・遠方からの入学生獲得 | 定員充足のため、柔整養成校の少ない徳島、鳥取、北陸への高校、整骨院訪問増加。2023 年生 4 名から 2024 年生 12 名へ増加。 | 午前部 60 名を確実に定員充足する。そのため、訪問範囲と頻度を拡大。四国、鳥取、島根の訪問頻度を 2 回から 4 回へ。早期に午前部を充足させ、夜間部へ誘導する。 |

III. 教育成果

1. 資格取得状況

| 資格名 | 受験者 | 合格者 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 柔道整復師 | 50 人 | 47 人 | 94% |

2. 進学・進路状況

| 進学・進路先 | 柔道整復学科 | 構成比 |
|--------------|--------|------|
| (1)接骨院 | 36人 | 72% |
| (2)病院・医院 | 7人 | 14% |
| (3)介護・スポーツ施設 | 4人 | 8% |
| (4)進学 | 3人 | 6% |
| 計 | 50人 | 100% |

3. その他特筆すべき事業成果

| 項目 | 事業内容・結果 |
|-------------------------------|--|
| (1)認定実技審査2年連続全員合格 | 養成施設の実技教育水準の維持向上と、その充実を図る認定実技審査において2年連続全員合格。 |
| (2)神戸弘陵高校女子硬式野球部(実習先)の全国制覇に貢献 | 神戸弘陵女子硬式野球部にトレーナー活動を実施。第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会優勝することに貢献することができた。 |

以上